

市議会だより



市議会ホームページ

発行／喜多方市議会 編集／議会広報広聴委員会



3月定例会

コロナ対策強化PCR検査センター設置

おじゃまします市議会です	2
3月定例会議案審議	4
一般質問に14名が登壇	9
請願・陳情の処理経過	17

若い力で
地域に貢献

おじゃまします 市議会です

特

集

地域とともに歩む共感を生むまちづくり

JICの活動をもっと知って欲しい

今回のおじゃまします市議会は、一般社団法人 会津喜多方青年会議所の皆様と意見交換をしました。



鈴木 康浩さん
(自動車販売・整備業)

会津喜多方青年会議所
(JIC)に携わったきっかけ

鈴木 埼玉県で自動車販売の仕事をしていたが、家業を継ぐため地元に戻り、いろいろな方との繋がりを求めて調べた結果、JICを知りました。

遠藤 文化財・保存修復の勉強をしたあと地元に戻り、美術館の運営に携わる一方、地域の方々と関わりを持ちたく、同じ年代が集うJICに入会しました。

白水(香) 一年半前に東京からUターンし、地元知り合いが少ないことや、仕事を始めるにあた

り喜多方を色々な意味で盛り上げたいと思うこともあり、誘いを受けて入会しました。

白水(和) サッカーが趣味な仲間や、先輩方からの誘いもあったので入会しました。

岩田 親も会員だったこともあり、また、当時の理事長からの誘いもあったので入会しました。

瓜生 妻が地元出身だったこともあり、8年前にUターンしたとき、誘いを受けて入会しました。

意欲的に
取り組んでいること

瓜生 これまで人材育成を中心に活動してきましたが、地元で耕作放棄地が目に見えて増えていることから、農業分野の課題として、耕作放棄地の



瓜生 真吾さん
(宿泊業)

解消をテーマに活動したいと思っています。

岩田 JICは世界組織であることから、県外の方やまったく違った職種の方との交流を図っているところです。

白水(和) いかにして地元に住み続けてもらえるかという観点で、一つでも実績が残せるような活動に取り組みもうと考えています。

白水(香) 今年1月入会したばかりですが、JIC活動をおして地元だけでなく、日本全国の方々とお会いすることを取り組みの目標にしています。

遠藤 JIC活動は今年で4年目です。県内のJICの方々と月に1・2回ほど勉強会を行うとともに、女性の社会進出を後



岩田悠二郎さん
(清酒製造業)

押ししたいと思います。
鈴木 今年度は「地域とともに歩む共感を生むまちづくり」をスローガンに、市民の方にもっとＪＣの活動を知ってもらうため対外的な活動に取り組んでいます。

現在の課題や悩み

鈴木 今年度は20名からのスタートとなりました。年々会員数が減っておりＪＣの認知度がまだ低いと感じています。
短期的ではなく長期的視野で、会員を増やさなければと思っています。
遠藤 会員拡大が課題と思っています。

ＪＣにどうしたら興味を持ってもらえるかが課題だと思っています。
白水(香) 入会したばかりではっきりした課題は見えていませんが、自分

の活動を対外的に発信していきたいと思っています。

白水(和) 仕事をしながらの活動になるので会員は皆さん大変ですが、一方で自己満足な活動になりがちだと感じます。

岩田 自分の住んでいる街をよりよくしたいという思いで活動しています。が、入会者が増えないことはやはり悩みです。
瓜生 私は観光業をしています。人口減少の中でいかにして観光による交流人口増大を図るかが課題と感じています。

将来の展望

瓜生 コロナとどう向き合っていくのか、他の地域の動きを待つのではなく、官民一体の取り組みで地域の良さを発信していくべきだと考えます。

岩田 ＪＣのネットワー



遠藤葉里寿さん
(学芸員)



白水 和也さん
(清掃業)

クを広げるとともに活用しながら、酒米を地元で作れば耕作放棄地の解消や就農などに貢献できるかなと思っています。

白水(和) ＪＣはこれからも存続してほしいので少しでも貢献できればと考えています。仕事の話になりますが、若い働き手を何とか確保していきたいと考えています。

白水(香) 地元で美容(マッサージ・エステ)の仕事をしているので、地元のお客さん呼び込み、地域の健康寿命を延ばしていければいいなと思っています。

遠藤 仕事の話になりますが、アートセラピーとかデザイン思考などの考えを生かし、この街に生まれて・住んでよかったなと思えるまちづくりに貢献していきたいです。

鈴木 ＪＣ活動に共感していただける方を増やし、会員増につなげたいと思っています。喜多方市の課題解決の中心に若い人がもっといてほしいし、その若い人がＪＣ会員であることが将来の展望です。

議事に臨むこと
鈴木 地域の課題に取り組む点では議会も一緒だと思っています。今後、地域課題解決のためＪＣにもお声がけしていただき、ＪＣを活用してもらえればと思います。

遠藤 議会とＪＣが歩み寄ればもっと地域のためになると思います。それと同時に喜多方の文化にもっと多くの人が触れられるようなお力添えをいただきたいと思います。

白水(香) 議会の方とお話する機会がなかった。今日の意見交換では議会を身近に感じる事ができました。もっと議会が市民と身近に接していいと思います。

白水(香) 議会の方とお話する機会がなかった。今日の意見交換では議会を身近に感じる事ができました。もっと議会が市民と身近に接していいと思います。

白水(和) ＪＣの課題にもあったように市民の方々と触れ合う機会を設けてもっと身近な立場にいてほしいですし、全国からの注目を浴びるような先進的な政策を提案してほしいとも思います。

岩田 ＪＣで喜多方市の中長期ビジョンを策定中なので、議会の方々にも目を通して意見をいただきたいと思っています。また、若手市議会議員からＪＣメンバーを推薦してほしいです。

瓜生 地域課題に取り組む姿勢は議会もＪＣも同じだと考えるので、お互いにコミュニケーションをとりつつ課題を共有できればと考えます。ＪＣを実行部隊と考えて活用してほしいです。



白水 香織さん
(サービス業(美容))

令和4年度当初予算可決

3月
定例会

令和4年第3回3月定例会は2月24日から3月15日までの20日間の会期で開催されました。
また、2月17日、3月28日にそれぞれ臨時会が開催され、除雪対策経費等について、議論が交わされました。

令和4年度 当初予算

会 計	予 算 額
一 般	263億 690万円
特 別	121億9,432万円
下水道事業（収入）	21億3,440万円
// （支出）	24億3,745万円
水道事業（収入）	13億6,555万円
// （支出）	18億7,757万円



3
月
定
例
会

当初予算の主な事業

移住定住促進経費



移住希望者に向けた情報発信や各支援制度及び補助制度などにより、本市への移住・定住の促進を図る。
【予算額1,111万円】

グリーン・ツーリズム誘致促進事業



首都圏の学校・旅行会社等へのPR活動や誘致活動等を行い、都市と農山村の交流人口の増加を図る。
【予算額777万円】

補正予算の主な事業

新型コロナウイルス PCR 検査センター設置



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市民の安全と安心を確保するため、市と企業が共同で設置
【補正額152万円】

除雪対策経費



雪害対策のための経費（一斉出動のほか、山間部除雪、地吹雪処理、ザケ処理、排雪などに対応）
【補正額1億5,168万円】

議案審議・委員会の審査から

これでいいのか！

総合計画の基本計画・中間見直し

市では、平成29年度から令和8年度までの10年間で基本とする喜多方市総合計画に基づき、「力強い産業人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」を将来の都市像に掲げ、各種施策に取り組んできた。この間、社会経済環境の変化、自然災害や新型コロナウイルスなどへの危機対応、省エネや再生可能エネルギーの推進と地球温暖化対策など、様々な取組みが求められていた状況を踏まえ5年目である令和3年度に中間見直しを行う。

問 消防・防災の問題で、V-LOWデジタル防災システムの記述が全くなく、FMへの切替えについても、なぜこうなるのかの説明がなく、令和4年には

100%になるとしか、書いていない。このような見直しはないと思うが。

答 V-LOWマルチメディアの戸別受信機の配布を予定していたが、今回、防災行政無線のデジタル化ということでFMに切り替えることから、FM防災ラジオを全世帯に配布する指標に変更した。

問 農林業では、「農地の有効利用云々6次産業化や環境にやさしい農業」とあるが、農業ということとでひとくくりにするのではなく、「有機農業など」と、きちんと入れるべき。

答 今後策定される実施計画、またはアクションプランなどで、反映するよう検討する。

V-LOW・災害情報システムの補償は

問 V-LOWマルチメディア放送からFM放送への再構築事業として切替えが行われるが補償交渉の進捗状況、補償額を明らかにできないのか？

答 市と補償の相手方であるジャパンマルチメディア放送と20回以上にわたる交渉を進めてきている。新たなシステムに変わるまでは（補償側が）放送を続けるよう総務省から行政指導があった。市の実損失額で補償交渉

を進めてきて、ようやく合意の地点が見え、今月（3月）中には金額を含め説明できる段階に至った。今後の全員協議会で詳細を報告させていただく。

※全員協議会では、補償の相手方から、総額2億4400万円の補償額が提示されたこと、市としては合意できる金額であると判断し、今後合意書締結に向けた手続きを進めていくとの考えが示された。



▲補償対象となる防災ラジオ



▲再構築事業で新しく整備される FM 防災ラジオ

南町の空き蔵を活用したサテライトオフィス設置へ

本市への移住・定住、地元企業との協業、地域課題解決、若者の雇用等につなげるため、ポストコロナ時代を見据えたサテライトオフィスを整備する。

問 設置場所はどこか。

答 南町の伝統的建造物群保存地区内の蔵を活用する。

問 誘致支援業務委託の委託先はどのような事業者が想定されるのか。

答 事業内容は首都圏の企業や本市に縁のある企業に対して、プロモーション活動を行ったり、サテライトオフィスの見学、ワークショップ体験などを考えている。これらに精通した団体や企業に委託したい。

問 測量設計等業務委託はどのような内容か。

答 2階建ての空き蔵を改築する。1階はシェアオフィスと交流スペース、2階は個室オフィスとなるサテライトオフィスを設けたい。高速で安定したWiFi環境、セキュリティ1万全の改修設計業務を委託する。

問 運営体制はどのような考えで取組むのか。

答 常時の人員配置は行わない考え。喜多方ワークショップ推進協議会と連携して取り組みたい。



▲おたづき蔵通り(南町)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策強化へ

3月定例市議会開会日の2月24日、令和3年度補正(18号)として新型コロナウイルスPCR検査センター設置費用、5才から11才の子どもを対象としたコロナワクチン接種事業の予算案を全会一致で可決。
急いで先議として採択したのは、コロナ感染症拡大・第6波を早期に防止する必要性があるため。

問 無症状者対象にPCR検査センター設置とは

答 3月上旬から、PCR検査センターを喜多方プラザ第3練習室に設置して、無症状者の方・子ども(6才から12才)を対象に無料で検査を行う。

なお、事前の予約制となっている。

問 5才から11才の子どものワクチン接種は

答 希望者に対して市内医療機関でワクチン接種を3月から4月にかけて実施する。対象者へ、接種についての国からのお知らせと合わせ、接種券を郵送する。

問 学校・こども園・保育所での検査とは

答 3月28日、臨時市議会を開催し、小中学校・こども園・保育所でのコロナ感染拡大防止のため、コロナ感染症陽性者が子どもたちに出た際に、学校・保育所等でPCR検査キットにより、子どもたちの陽性の有無を判断し、感染拡大を防止することとした。



グリーン・ツーリズムサポートセンターが解散、 (二社) 喜多方観光物産協会へ業務引き継ぎへ

NPO法人喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンターが解散すること、これまで市が委託していた業務や管理してきた施設が令和4年4月から喜多方観光物産協会に引き継がれることとなった。

問 解散の経緯について伺う

答 喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンターは、発足してから全国でも先進的な地域として、組織の運営や農泊施設の数やツーリズム事業が順調に伸びてきていた。しかし11年前の原発事故により大きなダメージを受け、その後、もとの軌道に乗せようと努力してきたが、今般のコロナ禍で再度大きなダメージを受けた。農業体験は農業分野、観光振興は観光分野と分けるのではなく、一体的に考えることによって受

け入れ件数も増えることに繋がる。農業、観光双方に相乗効果が見込まれることから、解散を選択した。

問 引き継ぎの際に指定管理施設の再公募は行ったのか？

答 統合するために解散すると正式に決定されたのが令和4年1月25日の臨時総会でのことであり、その後観光物産協会側が統合を正式に受理したのが2月であったため、指定管理施設の残存期間については公募を行わずに業務の引き継ぎ団体である観光物産協会へ委託するということで整理した。

次回の指定管理の際には公募を行っていく。また、観光物産協会には市から2名の理事が選任されているため、業務内容等についても指導を行っていく。

園芸産地競争力強化事業補助金の 申請状況は

園芸産地競争力強化事業補助金 2973万8千円。

この事業は、農業者の所得向上と競争力のある園芸産地の形成を図るため、本市の振興作物に位置付けられたアスパラガス、キュウリ、トマト、ミニトマト、トルコギキョウ等の園芸作物の生産拡大と施設化を支援する事業である。

問 補助金の具体的な内容は？

答 園芸作物の施設化に係るパイプハウスや、かん水設備等の資材代を補助するもの。

また、アスパラガス産地の発展を図るため新植・改植に必要な苗導入を支援するもの。

パイプハウス48棟分及びアスパラガス苗3万本分を見込んでいる。

問 品目ごとの内訳はどのようになっているのか？

答 アスパラガスで34棟、キュウリで14棟となっている。

問 補助率はどのようになっているのか？

答 アスパラガスは、県が50%、市が10%、他の振興作物は県が50%、市が県補助残の8%となっている。アスパラガス苗導入支援は施設栽培では40%、露地栽培は20%となっている。



▲施設栽培のアスパラガス

議会臨時会

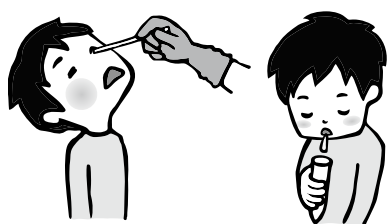
— 3月28日 —

保育施設・学校等の休業等の児童へのPCR検査キット配布事業563万5千円を可決

保育施設・小中学校・児童クラブの休業等により、自宅待機となった濃厚接触者の疑いの子ども、児童生徒及び教職員等の不安解消と、自宅待機期間解除後の感染拡大防止を図る。

具体的には、濃厚接触者の疑いとされた対象者に検査キットを配布し、自宅で検体（唾液）を採取し、ポストに投函する。検査機到着後、翌日には検査結果が判明するので、保護者等は、保育施設・小中学校等に連絡する。

なお、陽性であった場合は、医療機関で再度検査を受ける。



問 対象者はゼロ歳児からか。また、関係者と協議したのか。

答 唾液の検査となつているので、採取が可能ならばゼロ歳児も対象になる。議決後、実施する段階で、詳細を関係機関に伝え、詰めていく。

問 保育士や医療関係者の方々からは、3歳児以下では、唾液を検体としてとるのは難しいとの見解である。また、喜多方プラザ検査センターに行った方の中には、3歳児からの検体はとれなかったもので、抗原検査に切り替えた実例もある。抗原検査も含めた対応にすべきと考えるがどうか。

答 今回は、唾液採取による検査を実施し、抗原検査の是非については今後考慮していく。

問 今までゼロ歳、1歳、2歳児も発症している。3歳児までは、唾液の採取が難しい現状もあるので、現場の声を聞いて対応すべきと考えるがどうか。

答 抗原検査は鼻腔からの検体採取となる。保護者が実施することになるが、その方法について不安になる事も考えられるので、研究をしていく。

新きたかたプレミアム付商品券発行事業2億6000万円ほか可決

商品券発行額2億6000万円（販売金額2億円、プレミアム分30%6000万円、飲食店クーポン券2000万円）、販売内容1セット6千500円の商品券（500円分の飲食店クーポン券）を5千円で4万セットの販売、予算額8610万円

問 今回の販売は、一世帯2セット、全体で4万セットとの考えだが、経済効果を上げるためにもセット数を増やすなどの考えはなかったのか。

答 商品券発行額の規模については、商工団体との協議によって決定した。1セット5千円については、低所得世帯など気軽に購入できるように配慮した。さらに、経済効果について直接的には、2億8000万円では、

あるが、誘発効果が0・32倍で8900万円、波及効果が0・475倍で1億3300万円となり、この商品券発行事業だけで5億円以上の経済効果が見込まれる。

問 実施時期が、5月予約で、7月販売とのことだが時期的に遅いのではないか。

また、ぐるり喜多方シールラリー事業は6月実施であるが、早い時期にできなかったのか。

答 実施時期についても商工団体との協議の上であるが、7月の時期は、夏休みやお盆があるので、効果が高いと見込んだ。

また、ぐるり喜多方シールラリー事業の6月実施については、実行委員会の中で協議をしてきた。

特に、6月は、観光客の入り込み客数の減少が見込まれることから、この時期にした。

喜多方市政のココが知りたい！

一般質問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

3月定例会の一般質問は2月28日から3月3日までの4日間行われ、14名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目のなかから1項目程度を要約して掲載しております。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、会期中はインターネットで中継を配信しています。)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

市議会議員補欠選挙結果

欠員に伴う喜多方市議会議員補欠選挙により2名の当選が確定しました。

- ①氏名
- ②会派
- ③常任委員会



- ①遠藤吉正
- ②新良致会
- ③産業建設常任委員会



- ①関本美樹子
- ②良致会
- ③総務常任委員会

子どもの集う施設の防犯対策は万全か!

教育長 随時、防犯体制の見直しをおこない対応する。



山口 文章 議員



問 市立こども園、小中学校の防犯対策について伺う。

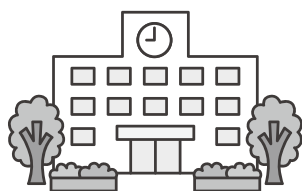
答 全ての公立こども園・小中学校で不審者対応マニュアルが整備され、マニュアルに基づいた職員の役割の確認、避難場所への連絡等、定期的に訓練を実施している。また、各地で事件が発生した際や年度の切り替え時に、随時マニュアル及び園内・校内防犯体制の見直しをおこなっている。

問 本市の「新型コロナウイルス感染症に係る休暇給付金」の内容と今後の対応について伺う。

答 小学校や保育施設等が臨時休業になり、看護のため、保護者が仕事を休まざるを得なかったとき、休暇が有給休暇とならず給与等が支給されない場合に申請した保護者に対し、1日1万2千円を上限に最大14日間給付金を支給するものである。令和4年度も現在と同様の内容で継続する。

問 冬期間の自転車通学不可の生徒への支援拡大の検討は?

答 デマンド交通利用のみならず、その他の通学方法について



5歳～11歳の子供へのワクチン接種は!

市長 3月14日から接種予定である



後藤 誠司 議員



問 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況は。

答 2月21日現在、65歳以上の方が5千971人、18歳以上64歳以下の方が2千64人、合計8千35人の方が接種をした。対象人口に対する接種率は65歳以上が35・8%、18歳以上64歳以下が8・9%、全体で20・1%である。

問 5歳～11歳の子供へのワクチン接種予定は。

答 2月24日に対象者2千511人に対し接種券の発送を開始し、3月14日から小児用ワクチン接種を予定している。

3月に国から配分される小児用ワクチンは



500人分であるので、1医療機関で行う。4月以降に1千500人分のワクチンが配分予定なので、複数の医療機関で実施する。

問 オミクロン株の感染が高止まっている

と感じており、遅れて医療機関への負荷がかかっている。また、派生型の「BA・2」も懸念される。

答 対策としては、3回目のワクチン接種を早めていくべきと思うがいかがか。

3回目のワクチン接種が速やかにできるような体制を作り、感染症対策に万全を期していく。



2022市長選挙結果から市政運営をどうするのか

市長 誰一人取り残さない市政運営に努める

問 遠藤市長は2022市長選挙の投票率をどう受け止めているのか。また、今後の市政運営をどう図る考えか。

答 非常に寒い中、新型コロナウイルス感染症に警戒しながらの選挙であったが、4年前の市長選挙を0・38%上回る56・59%の投票結果となったが、一方で約4割強の有権者が投票しなかった結果であり、特に若い人の投票率が低いことは大きな課題である。

私は、「オール市民でのまちづくり」を心がけ、市民一人ひとりの声や提言に真摯に耳を傾け、それらを市政に反映させることを基本とするが、そのため

齋藤 仁一 議員



▲投票風景

には、市政の現状や課題などについて分かりやすい情報発信に努め、市民の市政に対する関心の高揚を図り、様々な意見を伺いながら市政運営にあたっていくことが重要であると考えている。

そのうえで、今年度中間見直しを実施している「喜多方市総合計画」を政策の軸に据え、多様化する市民ニーズをしっかりと見極めながら、地域の課題に対して、一つひとつ丁寧に対応し、誰一人取り残さない市政運営に努める。

コロナ禍での観光施策・経済対策は？



遠藤 吉正 議員



市長 感染状況を注視し必要な対策を速やかに実施する

問 今後の観光振興施策はどのような具体的戦略で取り組むのか。

答 令和2年度に策定した観光振興ビジョンの5施策を柱に展開する。「地域特性を生かした観光の魅力づくり」「誘客宣伝活動の推進と受入体制の充実」「広域観光と外国人観光客の誘客促進」「グリーン・ツーリズムの推進」「物産の振興」。また、新たな取組として「地酒のまち喜多方」の更なる認知度向上と、国内外での販路拡大・競争力強化ワーケーションの推進により、本市の目指す姿である「地域の資源が生きる、出会いと発見・感動あふれる観光

のまち喜多方」の実現に向け取り組む。

問 今後の具体的経済対策及びプレミアム付商品券事業は実施するのか。

答 新型コロナウイルス感染症が市内経済に及ぼした影響は簡単に解消できるものではないため、引き続き経済対策は必要。今後は、商工団体などからの要望書、昨年実施したアンケート、今年開催した経済対策懇談会での意見、市議会からの要望書の内容を踏まえプレミアム付商品券事業も含め必要な対策を検討する。



▲喜多方流農業体験

マイナンバーカードの普及が遅れている理由は

市長 高齢者が多いので丁寧に説明する



小澤 誠議員



マイナンバーカードの普及状況
(令和4年1月現在)

- ・交付済み人数 13,887人
- ・健康保険証として利用登録者数
 - 国民健康保険の被保険者数 190人
 - 後期高齢者医療の被保険者数 64人
- ・カードリーダー設置の医院・薬局
 - 医療機関 4か所 (全体の9.3%)
 - 薬局 21か所 (全体の4.8%)

問 マイナンバーカードを健康保険証として利用する登録者が少ない理由は何だと考えるか。

答 国民健康保険の被保険者は高齢者の方が多く、かなり丁寧な説明をしていく必要がある。

問 情報が漏えいし、プライバシーが侵害されるおそれがあることに對して不安を持っている市民に對し、どのように対応するのか。

答 個人情報情報が漏えい、滅失または毀損の危険にさらされることがないように、安全管理措置を講じなければならず、これらの措置は個人情報提供を受ける者に対しても同様である。

再生エネルギーのバイオマス発電の材料山として利活用してはどうか



市長 関係者と協議し検討する

山口 和男 議員



問

大正11年に売買されたA氏ほか245名の山林が山都町に登記されていた。現在は246名の法定相続人全員が相続登記はされていない。

入会権から推測すると、当時は水系を中心に村が形成され、山林や原野は村管理で、村人は持分を持てなかったことが慣習で民法に法制化された。

よって当時の村の行政主導で246人に買い与えられたと思われるが、市当局の考えを伺う。

あわせて、現在の登記簿は改製不適合物件で相続登記がされていないので、職権で全員の登記をしてから固定資産税を課税すべきと

考えるがいかがか。

答 売買については、書類が残っており不明である。

問

入会権から考えるに、解決方法は、自治体が承継財産として取得することである。今後再生エネルギーのバイオマス発電の材料山として利活用をしてはどうかと考えるがいかがか。

答

関係者と協議をし、検討していく。

「会津型」の普及を積極的に進めるべき



市長 新たな「会津型」の活用のため普及に努めていく

問 会津型の更なる普及に向けて、市の今後の取組や進め方について伺う。

答 市では、これまで名刺や各種広報、表彰状の背景、橋の欄干や照明灯、議場の壁など、会津型を幅広く取り入れてきた。

現在は、文化財としての価値を発信しながら各種イベントなどを実施している。また、小中学校の授業に会津型が取り入れられ、高校生が商品開発したお菓子のパッケージに会津型が用いられた。

今後は市内外の事業者、教育関係者と意見交換する場を設け、各分野が連携して会津型の事業を企画、実施で

きる仕組みづくりを進める。

令和4年度は「会津型ミュージアムウィークス」と題し、市内各所でワークショップ等を開催し、周遊しながら会津型を知って、楽しんでもらえるイベントを実施する。

問

以前に「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用すべきと質したが、現在の進捗状況は。

答

これまで先進地の事例調査等を行い、組合設立に向けた動きが本格化した。令和4年度早期の事業開始に向けた準備が着実に進められている。

十二村 秀孝 議員



▲会津型を活用した表紙

子どもたちの声なき声に対応してほしい



渡部 一樹 議員



市長 総力を結集し、子どもたちのために真剣に考える

問 学校や教員のトラブルへの対応力が低下している。福祉関係課との連携で抜本対策を求めるが見解は。

答 本年度から新たに整備した「子ども家庭総合支援拠点」では、子どもや子育てに係る問題の実情把握、情報提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整を行っている。関係機関との連携を強化しながら学校運営を支援していく。

問 支援が必要と思われる児童生徒の保護者への支援、指導等はどのような方針・体制で進められているのか。

答 「切れ目のない支援」の方針の下、

学校、教育委員会、関係各課、関係機関が連携を密にし、支援を行っている。

問 実際の支援は「切れ目だらけ」だ。支援が必要と認識されても数年間放置されているケースがある。これでは子どもたちは教育・福祉行政の被害者だ。市長は、今回の選挙や議会での市政方針で「誰一人取り残さない行政運営」、「市民生活に寄り添った温かい行政運営」を掲げた。声なき声に対応してほしい。市長の考え方を求める。

答 今回の選挙で大きな柱の一つに掲げた。関係各課の総力を結集し、未来を担う子どもたちのために真剣に考える。

今回の選挙で大きな柱の一つに掲げた。関係各課の総力を結集し、未来を担う子どもたちのために真剣に考える。

愛の31文字コンクールの復活は？

教育長 喜多方全体のイベントとして実施する。



小島 雄一 議員



問 熊倉は昔から和歌の盛んな地区であり、その伝統を生かした公民館の地域起こし事業として実施してきたこのコンクールを中止した理由は何か？

答 このコンクールは平成18年から令和2年まで16回にわたって実施され、高く評価されてきたが長くなっ

たこともあり、事業の見直しということでは止まった。しかし、この事業の意義は、多くの応募があり、地域活性化や表現豊かな人材の育成など有益な事業として評価するところであり、令和4年度からは中央公民館主催の喜多方全体の事業として実施したい。

問 この事業は単なる短歌コンクールではない。地域と一体となった「人づくり、まちづくり、ふるさと創生事業」である。この精神をどのように引き継ぐのか？

答 熊倉地区で実施されてきた歴史を踏まえ、その様な精神を活かせるよう取り組んでいく。



▲大正4年発行の和歌集「雄国乃雙竹」

令和4年度の若者向けの移住・定住施策は？



市長 新たに、サテライトオフィス整備事業を展開する

上野 利一郎 議員



問 令和4年度に予定している、サテライトオフィス整備事業の目的と内容、及び企業誘致の手法について。

答 サテライトオフィス整備事業は「転職なき移住」を実現し、地方への新たなひとの流れを創出することを目的としている。

事業の内容は、蔵が持つ重厚で歴史ある雰囲気や気温・湿度の安定等の特性を活かした執務環境が提供できるよう、小田付伝統的建造物群保存地区内にある蔵1棟を市が借り受け、改修等を行い、最大3社が活用できる施設の整備を行うものである。

企業誘致の手法につ



▲サテライトオフィスでのリモート会議

いては、首都圏立地企業や本市にゆかりのある企業等に対し、福島県や庁内関係課等との連携によるプロモーション活動を行うほか、喜多方ワーケーション推進協議会と連携し、進出を検討している企業に対する施設見学やワーケーション体験、本市ならではの働き方が体験できるモニターツアーの催行を行うなど、効果的な企業誘致活動を行っている。

一般質問

高齢者一人暮らしの見守り事業の充実を！



市長 緊急通報システムや安全協力員など取り組んでいる

問 本市の高齢者および一人暮らしの人数と高齢化率は。

答 令和3年度は、65歳以上の高齢者数が16,694人、一人暮らし高齢者数は4,085人、高齢化率は36.4%である。

問 緊急通報システムの取り組み効果は。

答 赤外線センサーを用いた見守りや、定期的なお元氣コールにより、利用者の安心感を高めるとともに、緊急時には、迅速な救急への通報や親族への連絡に繋がっており、命が助かった事例もある。

問 緊急通報システムを希望される方を

菊地 とも子 議員



電話回線が無い方への対応は。

答 携帯電話回線を利用したシステムも導入は可能とのことであったが、固定電話ほど安定した回線が確保できないことなど課題はあるが、これら課題を整理したうえで、携帯電話回線を利用したシステムの導入について検討する。

問 見守りロボットを導入すべき。

答 見守りロボットも高齢者の安心と安全を守る有用な機器のひとつと認識している。今後、見守りロボットを含め、効果的な機器の導入について、研究する。



▲緊急通報システム

地域性に配慮した小中学校の適正配置とは



矢吹 哲哉 議員



教育長 学校は地域の希望であり、地域、保護者の理解を得ながら進める

問 検討から5年目になるが、地域性を配慮するとはどのような進めていくのか。

答 令和4年度中には具体的骨格案を提示し、議会、地域、保護者の理解を得ながら実施計画策定を進めていく。地域の範囲はいろいろあるが、子供達にとっての地域は通学状況に関わりがあり、地域の中で子供達は成長する。また、地域は、学校と関わっている。

問 具体的にいつまでに決定する予定か。

答 地域、保護者のみなさんの理解を得ながら適正配置を進めていくので、いつまでに決めるとかではない。

問 上三宮小を小規模特認校として存続することにしたが、「3年間で見直す」との方針に不安の声がある。入学から卒業までは6年間あり、10年間は存続を計っていくことが必要ではないのか。

答 毎年度検証していく。特認校として出来るだけ長く存続させていきたい。

問 「上三宮小の存続に、小規模でも存続の可能性があるので」と、小さな規模の学校がある地域で、「自分の地域でも存続」との期待がある。地域にとって学校は希望であり、存続を基本に地域振興と一体にした適正配置をすべきである。

答 学校は地域の希望であり、地域性を考慮して進めていく。

本市のICT推進及びDXの進捗は？



市長 全庁的な体制で積極的に取り組む

問 市政の中にデジタル技術を取り入れる計画について伺う。

答 現在、「喜多方市高度情報化計画」を策定中であり、その中においてデジタル技術の取り入れも含め、市の情報化の推進に取り組んでいく。

問 これまでICT推進について大きな効果が見えてきていないが、過去3年間において基本システム以外に市独自にICT技術を活用した内容とその予算について伺う。

答 「コンビニ収納サービスへの対応」「喜多方市消費喚起・生活応援プレミアム付商品券交付事業」など5件、総額で2,600万円ほどである。

問 自治体DX等が推進される中、特に市長や部長等が率先してデジタル技術を取り入れて行政手続きの省力化を図って市の財政状況を改善し、余力の出来た職員が他の行政サービスに当たるなどの工夫が必要であると考えますが市長の考えを伺う。

答 デジタル技術の活用により、人件費の削減に留まらず市民生活の利便性や満足度の向上、人との繋がりの広がりによる地域振興などが期待されることから全庁的な体制で積極的に取り組んでいく。

蛭川 靖弘 議員



古代喜多方の王者、目覚め語り始める



市長 古墳文化の価値を、さらに発展させる

関本 美樹子 議員



問 灰塚山古墳をどう位置付けるか。

答 王者の住まいが古屋敷遺跡である可能性のことなどを踏まえ、古墳時代を解明する上で極めて貴重な例である。また、会津盆地の北西地域は会津新宮城跡、新宮熊野神社長床など貴重な文化財の集積地なのでそれらを、調査・研究の対象ばかりではなく文化財を巡る観光ルートにも活用を考えている。

問 研究の成果を広く伝えてゆくには。

答 北西地域の文化財の価値をもっと広めるため今リーフレットを作成している。また、令和4年度には新たにシンポジウムも開催の予定でいる。

問 施策にどう反映するか。

答 市として現在、地域の文化財の保存活用をさらに推進するため、「文化財保存活用地域計画」の策定を令和4年度に向け、進めている。さらに庁内では他分野連携により観光客にも本市における遺跡文化のすばらしさを発信してゆく。

問 市民の暮らしにどう生かしてゆくか。

答 公民館などでの歴史講座や学校での授業などに出土品の公開を図りながら、市民の暮らしの中でも息づく文化財活用のあり方を目指しさらに工夫を重ねてゆく。



▲灰塚山を望む

水田活用の直接支払交付金の見直しの中止を求める意見書

国においては、令和4年度農林水産予算編成に伴い、水田活用の直接支払交付金の見直しが行われ、今後5年間に1度も水稻の作付けがなかった水田を水田活用の直接支払交付金の対象から除外するという内容が示された。

当市においては、農業者等が国の米政策に基づき、地域の特色や気候に合った作物としてソバやアスパラガス等の作付けを行い、地域農業の振興に努めてきた。また、多面的機能の観点から見ても、中山間地域の農地の保全に大きく貢献してきた。

この見直しが実施されれば、国からの交付額が大幅に減額になる状況にあり、これまで築いてきた産地の崩壊につながりかねない。

さらに、交付金の対象とならない水田が発生することにより耕作放棄地の増大につながるなど、今後の農業・農村の持続的発展に深刻な影響が懸念される。

よって、当市議会は、国に対し、下記事項について強く要望する。

記

「水田活用の直接支払交付金」の見直しは行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月15日

喜多方市議会議長 渡部 勇 一

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

令和4年2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻した。これは、明らかにウクライナの主権と領土を武力で侵害する行為であり、国連憲章及び国際法に違反し、第二次世界大戦後の国際社会の秩序の根幹を揺るがすものである。

世界平和を強く願い、「非核平和のまち宣言」を可決し、核兵器廃絶の重要性や平和への取組を推進してきた本市議会は、今回のロシアの力による現状変更、核兵器使用をほのめかし、国際社会を脅かす行為は断じて容認できない。

よって、本市議会は、ロシアによる軍事侵攻に断固として抗議し、即時の攻撃停止と完全撤退を求めるとともに、国に対し、ウクライナ及びウクライナ国民に寄り添い、経済支援を含めたあらゆる支援の実施、ウクライナの在留邦人の生命と財産を守るための安全確保、さらには国際社会と連携し、経済制裁などの毅然とした対応を強く要請する。

以上決議する。

令和4年3月3日

喜多方市議会

請願・陳情



次のとおり審査されました。

請願名 提出者（敬称略）	趣旨	委員会 （賛成：反対）	本会議 （賛成：反対）
請願第1 福島県の最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出の請願 日本労働組合総連合会福島県連合会 耶麻喜多方地区連合会 議長 齋藤 賢司	1 福島県最低賃金について、毎年年率3%程度を目標に引上げを図ること。 2 中小企業等が最低賃金引上げの原資捻出のため、価格転嫁を始めとした環境整備の充実、強化を図ること。 3 労働力確保や人口流出抑制等の観点からも最低賃金引上げに取り組むこと。 4 福島県最低賃金の改定諮問時期は、労働者間の均衡や景気への影響も考慮し、可能な限り早期、早期の発効に努めること。	産業建設常任委員会 採択	採択 (19:0)
請願第2 消費税率を5%に引き下げ、複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める意見書提出の請願 喜多方民主商工会 会長 遠藤 喜一郎	1 消費税率を5%に引き下げること。 2 消費税の「複数税率」と「インボイス制度」は直ちに廃止すること。 3 庶民に重い不公平な税制を正して財源を確保すること。	総務常任委員会 採択	不採択 (9:10)
陳情第1 シルバー人材センターに対する支援を求める意見書提出の陳情 公益社団法人喜多方市シルバー人材センター 理事長 藤本 容子	インボイス制度導入後も、シルバー人材センターにおいて、事務局体制を維持し、安定的な事業運営が可能となるよう、新たな税負担を強いることなく、センターの会員への配分金等について、インボイス制度の適用除外とする等の必要な措置を講じること。	産業建設常任委員会 趣旨採択	採択 (15:0)

委員会での審議内容要旨

シルバー人材センターからの陳情に対する、産業建設常任委員会での審議内容は以下のとおり

この陳情は来年の10月から導入されるインボイス制度について、配分金などの適用除外を求めている。インボイス制度は新しく制定された法律で、消費税率を明確に記載した請求書を発行し、消費税の額を明確にしようというものである。しかし、これまで免税事業者であった年間売上が1,000万円以下の個人や小規模事業者がインボイス制度を導入しないことで、取引先から取引対象外にされるという懸念があり、そのようなケースにおいて混乱を招くのではないかと危惧されている。

今回のシルバー人材センターの陳情の趣旨は賛同出来るが、特定の事業者、もしくは特定の業種だけインボイスの適用除外を認めるという部分に関しては、市議会として国に意見書を提出するのは不適切ではないかと考える。この陳情を採択すればシルバー人材センター以外の業種や事業者が同様の請願・陳情を提出してきた場合、市議会として賛成する以外の選択肢はなく、今回の陳情同様に国に意見書を提出せざるを得ない可能性がある。よって趣旨は賛同できるが、意見書は提出しない、趣旨採択すべきという委員会での発言により、全会一致で趣旨採択に決した。

人事

全会一致で任命することに同意しました。

駒形財産区管理委員

鈴木 修【再任】

（塩川／上窪）

鈴木 一勢神【再任】

（塩川／紙子）

武蔵 大【再任】

（塩川／三橋）

穴澤 正人【再任】

（塩川／西常世）

大竹 公一【再任】

（塩川／深沢）

佐々木 定善【新任】

（塩川／東常世）

遠藤 進【新任】

（塩川／中屋敷）

人権擁護委員

全会一致で推薦することに同意しました。

樟山 久美子【再任】

（喜多方／大荒井第二区）

斎藤 勝富【再任】

（塩川／金森）

山口 恵司【再任】

（高郷／峯利田）

大島 陽平【新任】

（喜多方／上町東区）

3月定例会審議結果

意見が分かれたもの

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で可決されました。すべての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。



議案等名		議員名	議決結果 (議決年月日等)	賛・反 成・対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	反対 討論	賛成 討論
					矢吹 哲哉	小澤 誠	山口 文章	十二 村秀孝	上野 利一郎	小島 雄一	渡部 一樹	蛭川 靖弘	菊地 とも子	遠藤 吉正	小林 時夫	関本 美樹子	齋藤 仁一	田中 雅人	五十 嵐吉也	齋藤 勲一郎	佐藤 忠孝	伊藤 弘明	後藤 誠司	佐原 正秀	山口 和男		
議案第4号	令和4年度喜多方市一般会計予算	原案可決 (令和4年3月15日)	17：2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	小澤 誠	山口文章
議案第6号	令和4年度喜多方市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決 (令和4年3月15日)	16：3	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-	○	○	-	○	小澤 誠	菊地とも子
議案第34号	喜多方市総合計画の基本計画の中間見直しについて	原案可決 (令和4年3月15日)	17：2	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	矢吹哲哉	十二村秀孝
請願第2	消費税率を5％に引き下げ、複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める意見書提出の請願	不採択 (令和4年3月15日)	9：10	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	-	●	○	-	○	伊藤弘明	矢吹哲哉
陳情第1	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書提出の陳情	採択 (令和4年3月15日)	15：0	○	○	○	棄	棄	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	棄	-	○	○	-	○			
議会案第4号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	原案可決 (令和4年3月15日)	15：0	○	○	○	棄	棄	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	棄	-	○	○	-	○			

○は賛成、●は反対、-は欠席、棄は棄権、議長（渡部勇一）は採決に加わらない。

討論

総合計画中間見直し案

反対討論

本市ではカーボンニュートラル宣言をし、2030年までに二酸化炭素排出量を46%、2050年までに100%削減するとしている。福島県では2030年までに50%削減である。本市は県に先駆けて再生可能エネルギー100%を目指すとしている。目標を引き上げ再生可能エネルギーの地産地消を促進すべきであるため、反対する。

賛成討論

本案については、人口減少、少子高齢化、自然災害や新型コロナウイルスなどの危機対応、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進及び地球温暖化など社会情勢を踏まえ見直しを行うもので、各関係機関の代表などを委員とした審議会やパブリックコメントなどで、市民各層の幅広い意見を集約しているものであり、賛成する。

消費税率を5%に引き下げ複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める意見書提出の請願

反対討論

消費税が5%に引き下がれば、その影響は広範に及ぶ。本市には地方消費税で11億3千6百万が計上されているが、5%下がれば半分に引き下げられる。消費税の多くは福祉に使用されているが、減額されることにつながる。莫大な利益を上げる巨大企業や株でまもうける富裕層から、その分を取れと言っているが、簡単なことではない。反対運動が起こったり、企業や国民の経済活動が沈滞するため、反対する。

賛成討論

消費税は最悪の不平等税制である。広く薄く国民が等しく負担するとして、導入した3%の消費税は10%にも増税され、最悪の庶民いじめの増税になっている。せめて元の5%にもどすべきである。

令和4年度一般会計当初予算案

反対討論

1、農業をはじめ、地域経済の好循環の軌道に乗せる見通しが無い。2、賃金が数十年上がらず労働者生活が大変である。3、大型事業も問題である。予算の使い方として地域経済を発展をさせる予算が必要。4、再生可能エネルギー100%先駆けの地を目指す。令和4年度再生可能エネルギー導入率は0.4%増えるだけ。5、75歳以上の医療費自己負担を1割から2割に倍加の予算であり、反対する。

賛成討論

新型コロナウイルス感染症対策として、衛生用品などの確保やPCR検査を継続して実施する経費のほか、事業者応援の経済対策、ポストコロナを見据えたサテライトオフィス整備の事業費など計上しており、総合計画に基づく諸施策および新市計画に掲げる各事業など、市民生活に直結する大切な経費を盛り込んだ予算であることから賛成する。

令和4年度後期高齢者医療事業特別会計予算案

反対討論

一般会計の老人等医療給付経費に関する討論内容と同じ趣旨である。

賛成討論

法改正により、令和4年10月から75歳以上の一定以上所得者の窓口負担が2割となるが、急激な負担増を抑えるため3年間は、外来受診の負担増加額の軽減措置が導入される。本予算は事業の安定した運営のために必要なものであり、賛成する。

政務活動費

政務活動費は、議会の活性化と議員の調査研究その他の活動の充実を図るため、必要な経費の一部として会派に対し交付されるものです。各会派の収支の状況をお知らせします。

政務活動費は、各月1日を基準日とし、基準日において当該会派の所属議員数に月額2万円を乗じて得た額を一半期ごとに交付しております。

令和3年度 政務活動費 会派別及び使途別収支一覧表

(単位:円)

会派名		良致会	新良致会	高和会	公明会	日本共産党 喜多方市議団	和同の会	結いの会	創造喜多方	至誠会
会派構成		伊藤弘明※1 上野利一郎※1 山口文章※1 齋藤勘一郎※1 関本美樹子※1 ※1：令和4年3月	小島雄一 十二村秀孝 佐藤忠孝 遠藤吉正※2 ※2：令和4年3月 (五十嵐吉也)※3 ※3：令和3年4月～ 令和3年12月 (伊藤弘明)※4 (上野利一郎)※4 (山口文章)※4 (齋藤勘一郎)※4 ※4：令和3年4月～ 令和4年2月	渡部一樹 後藤誠司 佐原正秀	小林時夫 菊地とも子	小澤 誠 矢吹哲哉	山口和男 蛭川靖弘	田中雅人 渡部勇一※5 ※5：令和3年7月～ 令和4年3月	齋藤仁一 (渡部勇一)※6 ※6：令和3年4月～ 令和3年6月 (故坂内鉄次)※7 ※7：令和3年4月～ 令和3年10月 (故長澤勝幸)※8 ※8：令和3年4月～ 令和3年9月	五十嵐吉也※9 ※9：令和4年1月～ 令和4年3月
収入内訳	交付額	100,000	1,800,000	720,000	480,000	480,000	480,000	440,000	540,000	60,000
支出内訳	広報費			257,422	171,199	508,516	222,068		518,297	
	会議費					3,260				
	資料作成費	32,720	57,452						11,447	
	資料購入費	39,600	43,340	6,050			57,684		13,522	
収入合計 (A)		100,000	1,800,000	720,000	480,000	480,000	480,000	440,000	540,000	60,000
支出合計 (B)		72,320	100,792	263,472	171,199	511,776	279,752	0	543,266	0
収支差引額 (A-B)※		27,680	1,699,208	456,528	308,801	△ 31,776	200,248	440,000	△ 3,266	60,000
市への返還額		27,680	1,699,208	456,528	308,801	0	200,248	440,000	0	60,000

6月定例会に行う請願・陳情について

【提出期限】5月24日(火) 午後5時まで

【提出先】喜多方市議会事務局(市役所4階)

※期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会での審査になりますのでご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、市議会議員にご相談ください。陳情の場合は紹介の必要はありません。

詳しくは、議会事務局 TEL24-5253まで

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2	3	4
				本会議 (開会、会期決定、 提案理由説明等)	休会 (議案調査)	
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案審議)	
12	13	14	15	16	17	18
	委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	休会 (事務整理)	休会 (事務整理)	本会議 (委員長報告、 各案件決定、開会)		

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、体調のすぐれない方、風邪症状がある方の傍聴はご遠慮いただきますようお願いいたします。なお、傍聴される方は、手洗い・手指の消毒とマスクの着用、入場前の検温にご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、対応が変わることもありますので、ご了承ください。

エフエムきたかた
議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。
開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞かせください。

議会
インターネット中継

開会中はライブ(生配信)を視聴できます。
過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開いています。

<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>



取材レポート

地域と共に歩む “共感”を生むまちづくり！

(特集2・3ページをご覧ください。)



知産知商喜多方(2021年)



ちびっ子コンシェルジュ(2019年)

会津喜多方青年会議所の6名の方々にお話を伺いました。

会議所会員が減少傾向にある中、地域との共感を大事に市民の方々に自分たちの思いを届けようと一生懸命活動している姿には感動いたしました。

話が進むにつれて、喜多市をよくするための様々な意見が出され有意義な意見交換となりました。一方で議会への意見も出されました。「今まで話をする機会がなかった」「今回で身近に感じるようになった。

JCに対しても、もっと歩み寄って、交流や関わりをもって一緒に喜多方を元気にしていきたい」などの話がありました。議会としてもしっかり受け止め、より良い喜多方にしていけるよう頑張っていきたいと思っています。

- ◎知産知商喜多方
喜多方の食材を使い、高校生が給食のレシピを考え、市内小中学生に給食を提供した事業
- ◎ちびっ子コンシェルジュ
子どもたちと喜多方のお米について学ぶ地元愛を育む事業

背景の絵柄は「喜多方の染型（県有形民俗文化財指定）」「竹に雀」です。

編集後記

今年も日中線跡のしだれ桜が見事に咲き誇り、市民や観光客にきていただいた方々を楽しませてくれた。コロナ禍は3年目に突入し、国内さまざまな場所でも地震が発生し、世界では戦争が勃発するという厄難な時代に、我が喜多方のしだれ桜は、平和で平穏であることが如何に貴重であるのか気付かせてくれる。感謝。

議会広報広聴委員会

蛭川 靖弘



委員長 菊地とも子
副委員長 矢吹 哲哉
委員 十二村秀孝

渡部 一樹 田中 雅人
蛭川 靖弘 齋藤勘一郎
齋藤 仁一 五十嵐吉也